

出水市 行政改革推進委員会 議事録

会議名	第8期第5回 出水市行政改革推進委員会
開催日時	令和5年3月16日 午後6時30分から
開催場所	出水市役所 本庁1階 多目的ホール
委員の出席状況	染川委員（出席）林田委員（出席）税所委員（出席）田代委員（出席） 秋田委員（欠席）松崎委員（欠席）西野委員（出席）桐野委員（出席） 三浦委員（出席）土屋委員（出席）矢野委員（出席）

◆ 会次第及び会議要旨

事務局	1 挨拶
	2 新委員紹介・委嘱状交付
	3 出席関係課長の紹介 生活環境課長、商工観光課長、ツル博物館長、都市計画課長、道路河川課長、生涯学習課長
	4 第4回質問への回答 生活環境課長から、前回の外部評価施策「環境衛生・環境美化の推進」の審議内で出された質問について、他自治体への調査結果を回答した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ アパート等へのごみステーションの設置に関する規則等の有無 ・ 市等でごみ収集可能なアパート戸数の規準 ・ 衛生自治会連合会費の金額 ・ 自治会未加入者用のごみステーションの設置状況
	5 開会
	6 議事 令和4年度行政評価の外部評価について (1) 外部評価の視点について 各施策について、次の視点で御意見をお願いしたい。 <ol style="list-style-type: none"> 1 現状をしっかりと分析できているか。 2 課題を解決する取組が施策の方向性に示されているか。 3 優先的に取り組むべき内容が方向性に示されているか。 4 過去の外部評価での意見は、どのように進められているか。 5 評価点を上げるためにできる取組はないか。
委員	(2) 公園・緑地の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 私は子育て支援のボランティアに携わっているが、未就学児の母親十数名の集まりがあった際に、公園や緑地についてどう思っているか尋ねたところ、出水市には、子どもたちを遊ばせられる広い公園がないという意見があった。また、和式トイレしかない公園があるが、その場合、子どもを2、3人連れていくと面倒を見るのが大変なので、洋式トイレを整備して欲しいという意見があった。トイレが一番重要である。
都市計画課長	⇒ 現状、和式トイレがほとんどであるが、東光山公園を洋式に改修した。来年度も洋式トイレへの改修を予定している公園がある。洋式化への要望があることは認識しており、計画的に洋式化を進めていく予定である。 公園の広さについては、敷地の拡張は難しいが、現在総合運動公園内に整備中の

委員 都市計画課長	<p>屋根付き広場では、暑い日や雨の日でもお子さんを遊ばせられるような人工芝の広場を整備中である。また、同じ芝生広場では遊具の設置も検討している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 東光山公園にお子さんを連れていくという話をあまり聞かないが。
委員	<p>⇒ 面積は広いとは言えないが、公園内に子ども向けの遊具やトイレを整備している。以前と比べると利用しやすくなっているのでは。</p>
委員	<p>⇒ 最近では和式トイレが使えない子どもたちが多いと聞く。和式トイレがないため我慢して病気になるということもある。コストの問題もあるが、施策目的のために何が最優先なのか、考えていかないといけない。一部の公園だけ充実させるのか、優先的にトイレの洋式率向上に取り組んでいくのか。評価指標になっている公園・緑地の利用率を上げるために何をすべきか、集中と選択をしていかないと財源が不足するのでは。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> 公園の管理は指定管理者制度で行っているということだが、受託者は入札で決定しているのか。
都市計画課長	<p>⇒ 令和2年度から、都市公園・一般公園の管理を指定管理で行っている。選定は、応募者にプレゼンをしていただいて、評価をした上で決定している。維持管理のほか、自主事業の提案もいただいている。</p>
道路河川課長	<p>⇒ ふれいあいパークと針原公園はいずれも県が整備し、市が維持管理をしている。針原公園の管理は地元の方や近くの事業者さんをお願いしており、道路河川課は、浄化槽の管理委託や消耗品補充を行っている。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> 以前は市で公園キーパーを雇用していたが、指定管理者制度導入に当たって、その方々の雇用はどうなったのか。また、施策の評価点がマイナス1になったことと関連がないか。
都市計画課長	<p>⇒ 全員を指定管理者で引き続き雇用していただいた。評価点については、課としての分析では、総合運動公園のような広い公園もあれば、地域の小規模な農村公園など、広さも設備も異なる公園がある。中には管理が行き届いていない公園もあると認識しており、その地域で公園利用者が減っている等、いろいろな要因でマイナス1になっていると考えている。指定管理者については、台風の後にすぐに点検に回っていただく等、積極的に維持管理していただいております、利用者の安全・快適な利用のために尽力していただいている。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> コストの方向性のところで、プールの改修工事について記載してあるが、改修工事の工期が長いと感じる。工期が長いことがコスト増大につながっているのでは。また、天井を改修されLED照明が設置されたが、LEDは、照明の真下だけは明るいが周辺は暗いという性質がある。プール中央付近が暗くなっており、一利用者として対策していただきたいと思っている。
都市計画課長	<p>⇒ 令和2年度からプールの改修に当たっており、度々休館する形で工事をしており、利用者には大変ご迷惑をお掛けしている。財政負担を考慮し、年次的に整備を進めている。天井の改修については、緊急的対応のため休館せざるを得ず、工事ばかりしているという印象につながっていると思われる。照明については、利用者からの御指摘を受け、現在行っている電気工事の中で対策をした。</p>
委員 都市計画課長	<ul style="list-style-type: none"> プールの休館が原因で、公園・緑地の利用率低下につながったと考えられるか。 <p>⇒ アンケートは公園・緑地の利用についての設問であり、プールの休館の影響はないものと考えられる。</p> <p>プールの休館については、利用者には大変ご迷惑をお掛けしている。なお、来年度予</p>

委員	<p>定している第三期工事は休館の必要がない工事である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出水市は、一部を除いてまち全体が公園のようなものであるため、公園の需要は少ないのでは。のんびんだらりと整備しないで、逆に、東光山の桜のように特化して、すごくきれいな公園を1、2箇所整備して、宣伝するなどしてはどうか。
委員	<p>⇒ 公園の需要は年齢によるのでは。子育て世帯の場合は、外で遊ばせられる場所の需要はあるのでは。</p>
都市計画課長	<p>⇒ 農村公園が課題である。数が多いが利用率が低い。中長期的には統廃合が課題である。御意見のとおり、たくさん利用していただける公園を充実することが必要と認識しているが、農村公園は地元からの要望で整備されているものであり、統廃合には地元の理解が必要であり、計画は立っていない。</p>
委員長	<p>⇒ 経営資源の不足に対応するため、今後の取組が求められる。きれいな公園と子どもたちが遊べる公園とそれぞれニーズが違う。そのニーズの中で何を優先させるか、選択と集中の視点で施策を考えていく必要がある。市として何をを目指すのか、ミッションに合わせてやっていくということである。</p> <p>ただ利用者が多ければ良いということではなく、必要な人が必要な時に使えているかという視点が必要。</p>
<p>(3) 観光の推進</p>	
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 私は、十数年前から武家屋敷で着物の着付け、お茶、お琴などのおもてなしをさせていただいている。当初は利用してもらいたいという考えで料金を安く設定したが、年数を経るにつれ、評判が広まり利用者が増えてきたものの、料金が安いためそれが仕事としては成り立たず、若い担い手の確保が難しくなっている。しかし、料金を上げることはなかなか難しい。民間レベルの活動では継続が難しくなっている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 私は毎週日曜日の午前に麓を散歩しているが、今は人を見ない。武家屋敷は今は有料だが、昔は無料だった。有料で人が来るのか。
商工観光課長	<p>⇒ 竹添邸・税所邸・麓歴史館をセットにして入館料を設定している。武家屋敷の入館者は、以前は年間約4万8千人、ここ2、3年は2万1～2千人となっている。今年度は2万7千人であり戻りつつある。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 評価指標の「武家屋敷・麓歴史館の共通入館証販売数」では、昨年度は5千7百人となっているが。
商工観光課長	<p>⇒ 御紹介した数値は、実際に訪れた方的人数である。指標は入館証の販売数である。入館証は12月末まで有効であり、有効期間中は何度でも入館できるほか、入館証購入が不要な形での入館もある。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史館が有料なのは理解できるが、武家屋敷は無料にしてはどうか。無料だと通りすがりの人でも入りやすい。
委員	<p>⇒ 12月末まで有効というのは地元の人には良いが、観光客にとっては意味があるのか。1年間有効と言われると損した気にならないか。市民と観光客で値段を分けるという観光地がある。</p>
ツル博物館長	<p>⇒ 共通入館証は缶バッジになっており、おみやげとしての価値も持たせている。有料化しているのは武家屋敷の維持管理費を捻出する目的もある。</p>
委員	<p>⇒ 費用が掛かっているものに対して有料化は必要と思われる。最近、消費者教育が進んでいて、サービスに対価を支払うことの理解は得やすい。ただし、金額に見合う価値が求められる。</p>
商工観光課長	<p>⇒ 武家屋敷には案内人が常駐しており、入館者に麓地区の歴史や武家屋敷の隠し部</p>

	<p>屋等の説明をしていただいている。金額に見合うサービスの提供につながっていると思われる。</p>
委員	⇒ 評価指標「武家屋敷・麓歴史館の共通入館証販売数」の評価がマイナス2点になっているが、新型コロナなど社会情勢を加味した評価も必要ではないか。
事務局	⇒ 社会環境の中で、どの施策が優先的に力を入れていくべきかを評価点から判断できるような評価の仕組としている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 観光の振興は昨年度も外部評価の対象だった。現状分析を見ると、新型コロナの影響があると記載してあり確かにそのとおりだと思われるが、今後の方向性の記載では観光基本計画を策定することは書いてあるが、具体的にどのように事務事業を見直していくのかが見えない。また、昨年度と比較し事務事業数が減少しているのはなぜか。
商工観光課長	⇒ これまで本市には観光に関する計画が無かった。これから観光需要の回復期を迎えるに当たり、市や民間事業者等と5～10年後の目指す姿のベクトルを合わせるため、来年度に計画を策定するものである。
事務局	⇒ 事務事業数の減少について。2020年度は、新型コロナ対策として単年度の事務事業が複数あった。2021年度には、それらが終了したことにより件数が減少している。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 事業一覧に魅力ある観光地づくり事業とあるが、先ほどのお茶等のおもてなしも魅力ある観光地づくりに寄与しているのでは。民間でのおもてなしが立ち行かなくなれば魅力減少になる。これからインバウンドが増えてくる。円安の影響と治安が良いこと、高品質なものが安く出買える等、好条件が揃って日本が注目されている。その中で、鹿児島は中国・韓国からの買い物目的の来県者が多かったのが、今後は歴史に関心のある欧米から観光客が増えてくる。出水市はツルという観光資源もある。欧米人は新幹線乗り放題チケットを使って、今日は東京、明日は大阪のようにフットワークが軽い。そのような状況に合わせた戦略を考えても良いのでは。 <p>着付けについては、料金が安ければ良いというものではない。京都等を参考に、サービスに見合う料金設定が必要では。人は宝物であると前回から感じている。出水市が観光に力を入れていくのであれば、担い手確保も考慮しなければならない。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> 評価指標について、昨年度は「外国人宿泊者数」という指標があったが、今年度はないのはなぜか。
事務局	⇒ 昨年度は、参考指標として「外国人宿泊者数」を掲載していた。今年度の配布資料では、参考指標は割愛している。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 近年は日本自体が外国人の入国を制限していたが、これから外国人宿泊者数が回復していく。今後は評価指標になり得るのでは。
ツル博物館長	⇒ クレインパークではラムサール条約関連事業の一環として、利用調整をさせていただいた。利用調整期間中は、午前6時30分から観察センターの屋上を利用可能とし料金を徴収した。12月頃から欧米のバードウォッチングのツアーが来られたり、台湾から団体旅行が来られる等しており、新型コロナからの回復が見られる。バードウォッチャーの方は本市に2、3泊されるので、そのような方々をさらに増やしていきたいと考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 外国人宿泊者数を評価指標の1つとして検討していただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 麓の観光について、現在は武家屋敷の近くまで車で行けるが、駐車場を商店街に移すことで、商店街でお土産を販売したり、武家屋敷群の散策により、滞留時間を延ばすことで活性化につながらないか。また、麓歴史館はお金のかけ方が中途半端だと思う。や

委員長	<p>るならやるでしっかり投資して人を呼べる施設にしてほしい。武家屋敷についても同様。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目指す姿を実現するための案として受け取った。目指す姿と評価の間に、目指す姿を実現するためにどういう施策・事業をやったのかが大事である。観光により市外客の消費を促進するというのであれば、そこにお金を掛ける必要がある。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 麓で牛車に乗った方から、「がっかりした」「あまりきれいではなかった」という感想を聞き、残念に思ったことがあった。それを聞いて私も麓を回ってみたところ、牛車の経路は樹木が多く、降雨後には落ち葉が地面に張り付いたようになり、景観が損なわれているのではと思った。また、地域の方に話を聞くと、住民にとってはデメリットの方が大きく、道をきれいにしようという意識が生じないという意見があった。6月頃に自分で経路を掃き掃除してみたが、ボランティアでは長続きするようには思えない程落ち葉が多く大変だった。年2回、自治会で清掃するようしているが、景観が維持できる頻度ではない。市で対策はできないか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公開武家屋敷の前の通りは毎朝清掃をされている。また、落ち葉が風情を演出する場所もあると思う。
商工観光課長	<p>⇒ メインの通りや人が住まわれている家の前はきれいに清掃なされていると思うが、空き物件が増えており、清掃が行き届かない部分があると思われる。本市の武家屋敷群は面積が広いのが売りの1つなので、街なみ保存会との意見交換の場で良い方法がないか協議の議題として提案したい。</p>
(4) 地域間交流・国際交流の推進	
商工観光課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 評価指標「観光等で本市を訪れる外国人観光客数」「市外者向けのイベントの市外者参加者数」の分析として、新型コロナのため観光事業やイベント開催ができなかったことが減少に大きく影響していると認識している。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目指す姿と指標が不一致ということか。交流するというのは、観光客との交流か、あるいは地元の外国人と交流することなのか。目指すものによって指標は変わってくる。
事務局	<p>⇒ 「観光等で本市を訪れる外国人観光客数」を指標にしているのは、交流の成果として経済・観光につなげるという本施策の目的の達成状況を把握するためであるが、この指標だけでは一部分しか評価できない。観光の推進の施策で税所委員の御指摘のとおり、外国人の観光客数や宿泊者数も観光の推進の指標にし、本施策の指標も再度検討したい。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本市はベトナムを始め、外国人の方がたくさんいらっしゃるが、これまで地域内での交流はあまりないのでは。指標は、観光でいらっしゃる方を対象にしているのでは。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外国人を呼ぶために、市はどのようなことをしているのか。
商工観光課長	<p>⇒ 韓国の順天市、台湾の埔里鎮と姉妹都市盟約を締結している。また、鹿児島空港に韓国からのチャーター便が来ているが、台湾からの便がまだ再開されていないので、再開されれば交流人口が増えるものと考えている。今年度は台湾を訪問し、ツアーを企画する旅行社に売り込みも行っている。インバウンドに向けては地元での迎え入れるための通訳者が不足しているという課題があるが、課題に対応しながら進めていく。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 知覧にも武家屋敷がある。知覧の外国人観光客数と比較することで、観光客増加策のヒントが得られるのでは。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外国人の知人が武家屋敷といたら知覧だと言っていた。知名度が圧倒的に違う。韓

委員	<p>国の順천시からの学生の受け入れが再開した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 出水の武家屋敷と知覧の武家屋敷では、配置の意味合いや構えが違う。出水の武家屋敷は国境を警備する武士の前線基地として形成された。その違いをアピールしてはどうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 出水だけの観光で考えるとツルと武家屋敷しかないが、周辺自治体と協力して、広域的に観光客を呼び込むという取組も1つではないか。これまでそのような取組はあるのか。
商工観光課長	<p>⇒ 北薩摩観光連絡協議会というのがあり、阿久根市や長島町と合せたパンフレットの作成や北薩地域振興局が薩摩川内市まで含めた観光施策を進めている。海外やインバウンドのため広域的なプランに基づく取組が効果的であると認識しており、引き続き連携して進めていきたいと考えている。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> 広域というのは重要で、先ほどの公園の施策についても、隣の市の方が良い公園があるということであれば、公園は他の自治体に任せて、出水市は違うことに特化する等の考え方もある。観光客に泊まっていただく等の場合も、広域的取組が有効ではないか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 出水ではツルと武家屋敷を見て、宿泊は温泉のある水俣市というパターンがある。広域の場合、メリットをどう分かち合うかが課題。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 出水では、飲食であれば、必ずこれを食べてもらうというような策であったり、バードウォッチャーの方には出水市が有利になるようにB&Bのような形でやっていけるのでは。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ワーキングステイの取組はあるのか。フランスの方が私の知人の家にホームステイされていたことがあり、本市での生活を喜ばれていた。フランス語教室等の就労ができれば、さらに充実したステイにつながったと思う。
商工観光課長 ツル博物館長	<ul style="list-style-type: none"> 現在取組はないが、今後の需要に合わせて検討していきたい。 新型コロナ前は、農家民宿で外国人の方が年間約1千人宿泊されている。先日も台湾から農家民宿の要望があったが、40数人の団体だったため、1日の受入可能人数を超えており、断らざるを得なかった。本市には大きな温泉施設はないが、コミュニケーションを目的としたニーズはあると思われるので今後もPRしていく必要があると考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 外国人だけでなく日本人でもニーズはあるのでは。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> 出水のことを思われている方がこんなにいすばらしいと思う。最後に、全体を通じて何かご意見はないか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 貢献性評価を導入して見直しを促進しようとされた点は良いと思う。資料の出し方については、外部評価の視点として5項目あるが、今年度は提示される事務事業の情報が事務事業名のみになったため具体的な方向性がつかみづらく意見が出しにくいと感じた。また、これまで第二次出水市総合計画と照らし合わせて外部評価を進めてきているが、当該計画が平成28年策定ということで、当時から相当いろいろなことが変わってきているので、指標を含め見直してほしい。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度は情報量が多くややこしかったという課題があり、今回はその対策として情報を整理されたようである。総合計画・指標に関しては、新型コロナ後のことを含めて見直しが必要という御意見である。
事務局	<p>7 その他</p> <p>後日、議事録と外部評価報告書(案)を送付するので、加筆・修正等があれば御意見をいただきたいと考えている。</p>

委員長

一同

8 閉会

これで第5回会議を終了する。

ありがとうございました。

ありがとうございました。